

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド(HFW)

2019年4月度臨時理事会 議事録案

■開催日時 2019年4月13日(土)15:00~17:20

■開催場所 HFW事務所

■役員総数 9名(理事7名、監事2名)

■出席者数 7名

関口和孝理事長、西岡はるな副理事長、長谷川雅子理事、原田麻里子理事、渡邊奈美子理事、渡邊清孝理事・事務局長、大島仁志監事

(8名の他に、本部職員の佐藤真美/米良章子がSKYPE参加)

■書面表決者 0名

■議事

1. 開会(司会:渡邊理事・事務局長)

2. 出欠確認(上記の出欠状況が報告された)

3. 理事長挨拶

4. 議事録署名人の任命

長谷川理事、渡邊理事・事務局長が、関口理事長より任命された。

5. 議事

【報告事項】

◎不正活動対応状況

出張する職員からの報告と質疑応答

ウガンダ出張中の佐藤氏・米良氏より以下の報告と、役員との質疑応答が行われた。

(報告 ※事務所での作業が実質2日間の短期間の状況下での所感)

・労働争議は収束しており、本部職員への対応は全く問題ない。新CDの丁寧なコミュニケーションにより、支部職員も一連の騒動に反省の弁を述べている。

・フィールドの住民も、新CDのフォローにより、労働争議に関する質問も出ず問題ない。

・新職員の資質や能力は、まだ2日間程度しか関わっていないため不明。

(質疑応答)

・西岡理事より、住民の反応が全く問題ないということは逆に不安で後に表面化のリスクが考えられるので、個別にヒアリングは可能かとの質問があり、掘り起しの影響に配慮し米良氏が次週対応することとなった。

・長谷川理事より、トラクターが実際に使われているか質問があり、耕作時の機械化と、加工・販売等の戦略を含めた組合活動の根本的な課題に、専門家の協力を得ながら対応することが回答された。

・原田理事より、全般的に気になった点について質問があり、佐藤氏より、新職員はこれまで緊急対応に追われたため、運営体制に対する理解度を確認する必要ありとの回答がされた。

渡邊報告

・渡邊事務局長より、資料H-1が報告された。BD支部での簡易内部会計監査結果の内容について、従来の支払いの経緯やその根拠を照らし合わせ確認する。

◎不正活動の現時点でのスケジュール

渡邊事務局長より、資料H-2が報告され、以下の対応がなされた。

・関係者への報告、並びに一般公開は、外務省への返金額報告がされた後、速やかに行う。

(関係者への報告が6月20日になっているが、6月上旬に行う)

【審議事項】

◎特別調査委員会メンバーと委託内容

渡邊事務局長より資料S-1の議案が上程され、可決された。

【討議事項】

◎賠償対応方針

以下の意見が出され、次回臨時理事会で審議する。

- ・訴訟を起こすことは、原告側である本部が被害者としての立場になるため、組織の信頼性低下に対するダメージコントロールとして一定の意味がある。
- ・現地の多様なステークホルダーの懸念や今後発生する可能性がある妨害等に対する措置として、解雇された職員に関する記事を現地新聞等へ掲載することは可能。

【その他】

次回理事会は、5月末に予定されている外務省への報告が終了し、決算見込みが出る時期の6月1日 10:00～13:00 で仮決定する。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人が下記に署名する。

2019年4月13日

議長

関口和孝

議事録署名人

長谷川雅子

渡辺清孝

